

音読み、覚えなさい。

$$12 + 4 = 16$$

$$12 - 4 = 8$$

$$12 \times 4 = 48$$

$$12 \div 4 = 3$$

上の式のそれぞれの数は、
その式の中で

次のような**用語**で
呼ばれている。

よく使われるので覚えておこう。

| | |
|-----------|-------|
| 12 | 足される数 |
| <u>+4</u> | 足す数 |
| 16 | 和 |

| | |
|-----------|-------|
| 12 | 引かれる数 |
| <u>-4</u> | 引く数 |
| 8 | 差 |

| | |
|-----------|--------|
| 12 | かけられる数 |
| <u>×4</u> | かける数 |
| 48 | 積 |

| | |
|-----------|-------|
| 12 | わられる数 |
| <u>÷4</u> | わる数 |
| 3 | 商 |

音読み、覚えなさい。

足し算のことを

かほう
加法と言う。

足し算の答えを

わ
和と言う。

引き算のことを

げんぼう
減法と言う。

引き算の答えを

さ
差と言う。

かけ算のことを

じょうほう
乗法と言う。

かけ算の答えを

せき
積と言う。

わり算のことを

じょうほう
除法と言う。

わり算の答えを

しょう
商と言う。

これらをまとめて、

か げん じょう じょう
加 減 乗 除

わ さ せき しょう
和 差 積 商

と言う。

音読し、覚えなさい。

| | | | |
|---|---|---|---|
| 足し算 <small>のことを</small> 加法 <small>という。</small> 加法 <small>の答えを</small> 和 <small>という。</small> | 引き算 <small>のことを</small> 減法 <small>という。</small> 減法 <small>の答えを</small> 差 <small>という。</small> | 掛け算 <small>のことを</small> 乗法 <small>という。</small> 乗法 <small>の答えを</small> 積 <small>という。</small> | わり算 <small>のことを</small> 除法 <small>という。</small> 除法 <small>の答えを</small> 商 <small>という。</small> |
|---|---|---|---|

| | | | | |
|------|----------|-------------------------|----------|----------|
| 符号 | + | - | × | ÷ |
| 算数用語 | 足し算 | 引き算 | 掛け算 | わり算 |
| 数学用語 | 加法 | <small>ぼう</small> 減法 | 乗法 | 除法 |
| 答え | 和 | 差 | 積 | 商 |

音読み、覚えなさい。

計算の順序

原則として

左から順に計算する。

ただし、

足し算・引き算と

かけざん・わりざんの

混じった式では

かけざん・わりざんを

足し算・引き算より

先に計算する。

$$20 + 5 \times 2 = 15$$

$$20 - 5 \times 2 = 10$$

$$20 + 6 \div 2 = 23$$

$$20 - 6 \div 2 = 17$$

さらに

かけざん・わりざんよりも

()^{ない}内の計算を

先にする。

$$2 \times (20 + 5) = 50$$

$$2 \times (20 - 5) = 30$$

$$24 \div (2 + 6) = 3$$

$$24 \div (6 - 2) = 6$$

音読し、覚えなさい。

カレンダーの数表を、**タテ**に速やかに言えるようにしなさい。

| | | | | | | |
|----|----|----|----|----|----|----|
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
| 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 |
| 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 |
| 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 |
| 29 | 30 | 31 | | | | |

音読し、覚えなさい。

| | | | | | | |
|-----|---|---|---|---|-----------------------|-----|
| | 2 | 4 | 6 | 9 | 11 | |
| 月 | 二 | 四 | 六 | 九 | 十 | |
| | 月 | 月 | 月 | 月 | 一 | |
| 覚え方 | に | し | む | く | <small>さむらい</small> 士 | 小の月 |

上記以外の月は、すべて、

一か月が31日です。

大の月と言います。

小の月は5つ。大の月は7つです。

もともと、1月、3月、5月、7月に続いて、9月、11月が大の月の予定でしたが、

暦を決めるときのローマ皇帝が、自分の誕生日の月の8月を大の月としたがったために、

大の月が1つ増えたのです。また、代わりに、2月を1日減らしました。

音読し、覚えなさい。

角度で多く使われる数。

$$90-30=60$$

$$180$$

$$90-45=45$$

$$180 \times 2 = 360$$

$$90-60=30$$

$$180 \times 3 = 540$$

$$180 \times 4 = 720$$

$$180-72=108$$

$$180 \times 5 = 900$$

$$180-60=120$$

$$180 \times 6 = 1080$$

$$180-45=135$$

$$180-40=140$$

$$180-36=144$$

音読し、覚えなさい。

$$10 \times 10 = 100$$

$$20 \times 20 = 400$$

$$30 \times 30 = 900$$

$$40 \times 40 = 1600$$

$$50 \times 50 = 2500$$

$$60 \times 60 = 3600$$

1 時間 = 3600 秒

$$\begin{array}{c} \text{十} \quad \text{十} \quad \text{が} \quad \text{百} \\ 10 \times 10 = 100 \end{array}$$

$$\begin{array}{c} \text{百} \quad \text{百} \quad \text{が} \quad \text{万} \\ 100 \times 100 = 10000 \end{array}$$

$$\begin{array}{c} \text{千} \quad \text{千} \quad \text{が} \quad \text{百} \quad \text{万} \\ 1000 \times 1000 = 100,0000 \end{array}$$

$$\begin{array}{c} \text{万} \quad \text{万} \quad \text{が} \quad \text{億} \\ 10000 \times 10000 = 1,0000,0000 \end{array}$$

億・万 兆じゃ。